

令和3年度

ステージラボ

～公共ホール等企画運営ワークショップ～

事業報告書

一般財団法人 地域創造

はじめに

一般財団法人地域創造では、地域における創造的な文化・芸術活動のための環境づくりを目的として、地方公共団体等との緊密な連携の下に、財政支援、研修・交流、情報提供、調査研究などの事業を実施しております。

そのうち地域の文化・芸術活動を担う人材の育成に取り組む「研修交流事業」では、財団設立当初から実施している公立文化施設の事業担当者に向けた「ステージラボ」や、市町村長や文化政策担当者に向けた研修などを実施しております。

「ステージラボ」は、地域の文化・芸術に携わる公共ホール・劇場等並びに地方公共団体の職員の方々を対象とした研修プログラムで、初任者に向けた入門コースや、事業企画に取り組む職員に向けたジャンル別の自主事業コースなど、職務内容や経験年数に応じた実践的研修コースを複数実施しています。プログラムは、現場経験の豊富な実務家にコーディネーターを委嘱し作成しており、講師と参加者の双方向型の研修となっています。セミナー、グループ討論、ワークショップ等で構成され、特に実演家による芸術体験ワークショップが充実しています。また、先進的な取り組みを行う公立文化施設を会場として開催し、全国各地との交流を図っていることも特徴のひとつです。

令和3年度は、穂の国とよはし芸術劇場 PLAT（愛知県豊橋市）で豊橋セッションを開催しました。38名の方々が全国から参加し、現在抱えるそれぞれの課題の共有や、検討を共におこないました。本報告書では、令和4年2月に開催した豊橋セッションの実施状況を報告します。

最後に、事業開催にあたりご協力をいただいたコーディネーター、講師、開催館の皆様には厚く御礼を申し上げます。

目次

〈本文中の社名、所属、役職等は、事業実施時点のものです〉

I 事業概要	
1 事業概要	3
2 開催実績	4
3 都道府県別参加者数	8
II 令和3年度事業	
1 事業概要	11
2 参加者の属性	12
3 コーディネーター・講師一覧	13
4 スタッフ一覧	14
5 実施日程	15
III ステージラボ 豊橋セッション	
1 コーディネーター・講師紹介	19
2 研修プログラム	22
3 各コースについて	
(1) ホール入門コース	
総評	26
ゼミ記録	27
(2) 自主事業コース	
総評	32
ゼミ記録	33
(3) 公立ホール・劇場マネージャーコース	
総評	37
ゼミ記録	38
4 共通プログラム	41
IV 参加者リスト	
1 ステージラボ 豊橋セッション	45

I 事業概要

Ⅰ 事業概要

1 事業概要

(1) 事業目的

地域における文化・芸術の創造拠点となる公共ホール・劇場等や地方公共団体で文化・芸術に携わる職員を対象に、職務内容、階層に応じた実践的研修プログラムの実施を通して、地域社会と文化・芸術をどうつなぐかというアートマネジメント論に立った施設運営の探求と、施設間の連携による効果的な芸術支援（育成）の環境を整える。

(2) 事業内容

① 対象者

公共ホール・劇場等及び地方公共団体の文化・芸術に携わる職員

② 開催回数及び実施時期

原則年度2回。年度の前半及び後半に各1回ずつ

3～4日間程度の集中研修

④ 会場

全国各地の公共ホールや劇場などにおいて実施。

(3) 事業の特徴

① 集中ゼミの実施

3～4日間の日程に密度の濃いカリキュラムで実施。

② 研修参加者の経験度にあわせたコース設定・プログラム構成

研修効果を高めるため、担当業務の内容、経験年数ならびに職務階層別のカリキュラム体系を編成（1セッション2～3コース程度）。また、参加応募時にアンケートを提出いただき、事前に参加者の問題意識や参加ニーズを把握することで、参加者の抱える課題に応じたゼミ内容となるよう努めている。

③ 参加者の能動的参加を促し、双方向のコミュニケーションを導き出す

一方的な講義とならないよう、少人数形式を採用。事前課題、グループディスカッション等を用い、参加者自らの積極的な参加意識を高める。

④ 実体験に触れるプログラムの提供

ワークショップ、レクチャーコンサート等を通して、実演芸術のあり方を肌で感じる機会を設けている。

⑤ 参加者同士のネットワークづくり

先進的な取り組みを行う公立文化施設を会場として開催し、研修を通じて全国各地から集まった参加者同士の交流を深める。

1 事業概要

2 開催実績

年度	セッション名	開催日時	会場	参加者数	設定コース
平成6年度	埼玉セッション	平成 6年 11月 30日 ～ 12月 2日	彩の国さいたま 芸術劇場 (埼玉県与野市：現さいたま市)	65名	基礎コース 23名 音楽コース 23名 演劇ダンスコース 19名
	宮崎セッション	平成 7年 2月 28日 ～ 3月 3日	宮崎県立芸術劇場 (宮崎県宮崎市)	56名	基礎コース 18名 音楽コース 19名 演劇コース 19名
平成7年度	水戸セッション	平成 7年 6月 6日 ～ 6月 10日	水戸芸術館 (茨城県水戸市)	52名	ステージ業務入門コース 21名 ステージ創造環境コース 12名 ステージ鑑賞共感コース 19名
	広島セッション	平成 8年 2月 27日 ～ 3月 1日	アステールプラザ (広島県広島市)	76名	基礎コース 23名 音楽コース 33名 演劇コース 20名
平成8年度	盛岡セッション	平成 8年 7月 2日 ～ 7月 5日	盛岡劇場 (岩手県盛岡市)	59名	ホール事業入門コース 21名 音楽事業コース 18名 演劇事業コース 20名
	福岡セッション	平成 8年 11月 19日 ～ 11月 22日	アクロス福岡 (福岡県福岡市)	60名	基礎準備コース 17名 ホール運営Ⅰコース 22名 ホール運営Ⅱコース 21名
平成9年度	松山セッション	平成 9年 8月 5日 ～ 8月 8日	松山市総合 コミュニティセンター (愛媛県松山市)	69名	ホールマネージャーコース 19名 ホール運営入門コース 20名 自主事業(音楽)コース 15名 自主事業(演劇・ダンス)コース 15名
	世田谷セッション	平成10年 2月 17日 ～ 2月 20日	世田谷 パブリックシアター (東京都世田谷区)	78名	ホール計画コース 17名 ホール入門コース 26名 演劇コース 16名 音楽コース 19名
平成10年度	札幌セッション	平成10年 6月 23日 ～ 6月 26日	札幌芸術の森 (北海道札幌市)	69名	ホールマネージャーコース 14名 ホール入門コース 20名 演劇コース 15名 音楽コース 20名
	神戸セッション	平成11年 2月 2日 ～ 2月 5日	神戸アートビレッジ センター (兵庫県神戸市)	69名	ホール計画コース 15名 ホール入門コース 24名 演劇・ダンスコース 11名 音楽コース 19名
平成11年度	静岡セッション	平成11年 6月 29日 ～ 7月 2日	静岡県コンベンション アーツセンター (静岡県静岡市)	66名	ホール入門コース 25名 ホール運営Ⅰコース 20名 ホール運営Ⅱコース 21名
	高知セッション	平成12年 2月 15日 ～ 2月 18日	高知県立美術館 (高知県高知市)	70名	ホールマネージャーコース 14名 ホール入門コース 20名 自主事業コース 21名 美術コース 15名
平成12年度	金沢セッション	平成12年 7月 4日 ～ 7月 7日	金沢市民芸術村 (石川県金沢市)	81名	ホール入門コース 26名 演劇コース 19名 音楽コース 20名 美術コース 16名
	熊本セッション	平成13年 2月 20日 ～ 2月 23日	熊本県立劇場 (熊本県熊本市)	66名	ホール入門コース 19名 運営基礎コース 20名 演劇コース 12名 音楽コース 15名

年度	セッション名	開催日時	会場	参加者数	設定コース
平成13年度	仙台セッション	平成13年 7月 3日 ～ 7月 6日	仙台市青年文化センター (宮城県仙台市)	65名	ホール入門コース 23名 演劇コース 13名 音楽コース 18名 美術コース 11名
	佐世保セッション	平成14年 2月 5日 ～ 2月 8日	アルカスSASEBO (長崎県佐世保市)	60名	ホールマネージャーコース 17名 ホール入門コース 22名 演劇コース 9名 音楽コース 12名
平成14年度	岐阜セッション	平成14年 6月 25日 ～ 6月 28日	岐阜市文化センター (岐阜県岐阜市)	87名	ホール入門コース 24名 自主事業入門コース 21名 自主事業企画・制作コース 21名 ホール管理・運営コース 21名
	大分セッション	平成15年 2月 18日 ～ 2月 21日	大分県立総合文化センター (大分県大分市)	71名	ホール入門コース 23名 自主事業入門コース 20名 自主事業企画・制作コース 16名 アートミュージアムラボ 12名
平成15年度	横浜セッション	平成15年 7月 1日 ～ 7月 4日	横浜赤レンガ倉庫1号館 (神奈川県横浜市)	88名	ホール入門コース 25名 自主事業入門コース 23名 自主事業企画・制作コース 21名 アートミュージアムラボ 19名
	沖縄・佐敷セッション	平成16年 2月 3日 ～ 2月 6日	佐敷町文化センター・シュガーホール (沖縄県佐敷町)	50名	ホール入門コース 21名 自主事業コース 17名 文化政策・企画コース 12名
平成16年度	新潟セッション	平成16年 6月 22日 ～ 6月 25日	りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館 (新潟県新潟市)	81名	ホール入門コース 24名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 20名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 18名 文化政策企画・文化施設運営コース 19名
	京都セッション	平成17年 2月 1日 ～ 2月 4日	京都芸術センター (京都府京都市)	69名	ホール入門コース 23名 自主事業Ⅰ(演劇)コース 13名 自主事業Ⅱ(ダンス)コース 17名 アートミュージアムラボ 16名
平成17年度	松本セッション	平成17年 7月 5日 ～ 7月 8日	まつもと市民芸術館 (長野県松本市)	77名	ホール入門コース 25名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 14名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 18名 文化政策企画・文化施設運営コース 20名
	三重セッション	平成18年 2月 21日 ～ 2月 24日	三重県総合文化センター (三重県津市)	51名	ホール入門コース 15名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 19名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 12名 アートミュージアムラボ 5名
平成18年度	長久手セッション	平成18年 7月 11日 ～ 7月 14日	長久手町文化の家 (愛知県長久手町)	65名	ホール入門コース 20名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 16名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 10名 文化政策企画・文化施設運営コース 19名
	高松セッション	平成19年 2月 20日 ～ 2月 23日	サンポートホール高松 (香川県高松市)	64名	ホール入門コース 19名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 16名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 15名 アートミュージアムラボ 14名
平成19年度	鳥取セッション	平成19年 7月 10日 ～ 7月 13日	鳥取県立県民文化会館 (鳥取県鳥取市)	62名	ホール入門コース 21名 自主事業コース 22名 文化政策企画・文化施設運営コース 19名
	東京セッション	平成20年 2月 5日 ～ 2月 8日	東京芸術劇場 (東京都豊島区)	65名	ホール入門コース 24名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 20名 自主事業Ⅱ(ダンス)コース 10名 アートミュージアムラボ 11名

年度	セッション名	開催日時	会場	参加者数	設定コース
平成20年度	青森セッション	平成20年 7月15日 ～ 7月18日	青森市文化会館、 青森県立美術館 (青森県青森市)	57名	ホール入門コース 20名 自主事業コース 16名 文化政策企画・文化施設運営コース 11名 アートミュージアムラボ 10名
	徳島セッション	平成21年 2月 3日 ～ 2月 6日	徳島県郷土文化会館 (徳島県徳島市)	49名	ホール入門コース 21名 自主事業コース 16名 文化政策企画・文化施設運営コース 12名
平成21年度	富山・高岡セッション	平成21年 7月 7日 ～ 7月10日	富山県高岡文化ホール (富山県富山市)	57名	ホール入門コース 23名 自主事業コース 21名 アートミュージアムラボ 13名
	(東京・赤坂開催)	平成21年9月3日～5日	地域創造会議室	16名	公立ホール・劇場マネージャーコース 16名
	鹿児島セッション	平成22年 2月 2日 ～ 2月 5日	鹿児島県文化センター (鹿児島県鹿児島市)	55名	ホール入門コース 23名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 18名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 14名
平成22年度	群馬セッション	平成22年 7月15日 ～ 7月18日	群馬県民会館 (群馬県前橋市)	56名	ホール入門コース 21名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 20名 自主事業Ⅱ(ダンス)コース 15名
	(東京・赤坂開催)	平成22年10月13日～15日	地域創造会議室	16名	公立ホール・劇場マネージャーコース 16名
	奈良セッション	平成23年 2月 1日 ～ 2月 4日	なら100年会館 (奈良県奈良市)	63名	ホール入門コース 24名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 19名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 20名
	アートミュージアムラボ 高知セッション	平成23年3月9日～11日	高知県立美術館(高知県高知市)	17名	アートミュージアムラボ 17名
平成23年度	(東京・赤坂開催)	平成23年10月12日～14日	地域創造会議室	18名	公立ホール・劇場マネージャーコース 18名
	アートミュージアムラボ 埼玉セッション	平成23年12月7日～9日	埼玉県立近代美術館(埼玉県さいたま市)	16名	アートミュージアムラボ 16名
	栃木セッション	平成24年 2月21日 ～ 2月24日	栃木県総合文化センター (栃木県宇都宮市)	53名	ホール入門コース 21名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 20名 自主事業Ⅱ(ダンス)コース 12名
平成24年度	埼玉セッション	平成24年 7月10日 ～ 7月13日	彩の国さいたま芸術劇場 (埼玉県さいたま市)	54名	ホール入門コース 25名 自主事業Ⅰ(演劇)コース 14名 自主事業Ⅱ(ダンス)コース 15名
	(東京・赤坂開催)	平成24年10月31日～11月2日	地域創造会議室	15名	公立ホール・劇場マネージャーコース 15名
	兵庫セッション	平成25年 1月29日 ～ 2月 1日	兵庫県立芸術文化センター (兵庫県西宮市)	62名	ホール入門コース 23名 自主事業Ⅰ(地域交流プログラム)コース 19名 自主事業Ⅱ(音楽企画政策)コース 20名
	アートミュージアムラボ 静岡セッション	平成25年3月6日～8日	静岡県立美術館(静岡県静岡市)	11名	アートミュージアムラボ 11名
平成25年度	静岡セッション	平成24年 6月25日 ～ 6月28日	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ (静岡県静岡市)	60名	ホール入門コース 22名 自主事業Ⅰ(伝統芸能)コース 18名 自主事業Ⅱ(子ども)コース 20名
	(東京・赤坂開催)	平成25年9月4日～6日	地域創造会議室	25名	公立ホール・劇場マネージャーコース 25名
	アートミュージアムラボ 宮城セッション	平成25年12月4日～6日	宮城県美術館(宮城県仙台市)	8名	アートミュージアムラボ 8名
	長崎セッション	平成25年 2月18日 ～ 2月21日	長崎ブリックホール (長崎県長崎市)	48名	ホール入門コース 18名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 13名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 17名
平成26年度	新潟セッション	平成26年 7月 1日 ～ 7月 4日	りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 (新潟県新潟市)	58名	ホール入門コース 21名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 22名 自主事業Ⅱ(舞台芸術)コース 15名
	(東京・赤坂開催)	平成26年10月15日～17日	地域創造会議室	16名	公立ホール・劇場マネージャーコース 16名
	アートミュージアムラボ 愛知セッション	平成27年1月28日～30日	愛知芸術文化センター(愛知県名古屋)	12名	アートミュージアムラボ 12名
	広島セッション	平成27年 2月17日 ～ 2月20日	アステールプラザ (広島県広島市)	47名	ホール入門コース 20名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 14名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 13名

年度	セッション名	開催日時	会場	参加者数	設定コース
平成 27 年度	札幌セッション	平成27年 7月 7日 ～ 7月10日	札幌市教育文化会館 (北海道札幌市)	43名	ホール入門コース 17名 事業入門コース 10名 音楽コース 16名
	(東京・赤坂開催)	平成27年10月6日～8日	地域創造会議室	17名	公立ホール・劇場マネージャーコース 17名
	北九州セッション	平成28年 2月16日 ～ 2月19日	北九州芸術劇場 (福岡県北九州市)	48名	ホール入門コース 20名 音楽コース 15名 演劇コース 13名
平成 28 年度	上田セッション	平成28年 7月 5日 ～ 7月 8日	サントミュージゼ 上田市交流文化芸術センター (長野県上田市)	56名	ホール入門コース 21名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 17名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 18名
	(東京・赤坂開催)	平成28年10月12日～14日	地域創造会議室	15名	公立ホール・劇場マネージャーコース 15名
	豊田セッション	平成29年 2月21日 ～ 2月24日	豊田市民文化会館 (愛知県豊田市)	59名	ホール入門コース 20名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 22名 自主事業Ⅱ(演劇)コース 17名
平成 29 年度	高知セッション	平成29年 7月 4日 ～ 7月 7日	高知県立美術館 (高知県高知市)	41名	ホール入門コース 17名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 10名 自主事業Ⅱ(舞台芸術)コース 14名
	(東京・赤坂開催)	平成29年10月16日～18日	地域創造会議室	19名	公立ホール・劇場マネージャーコース 19名
	横浜セッション	平成30年 2月20日 ～ 2月23日	横浜みなとみらいホール (神奈川県横浜市)	42名	ホール入門コース 22名 自主事業Ⅰ(音楽)コース 20名
平成 30 年度	滋賀セッション	平成30年 7月 3日 ～ 7月 6日	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール (滋賀県大津市)	56名	ホール入門コース 21名 事業入門コース 21名 自主事業(音楽)コース 14名
	(東京・赤坂開催)	平成30年10月16日～18日	地域創造会議室	14名	公立ホール・劇場マネージャーコース 14名
令和 元 年度	富士見セッション	令和 元年 6月25日 ～ 6月28日	富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ (埼玉県富士見市)	41名	ホール入門コース 22名 自主事業コース 19名
	いわきセッション	令和 2年 2月18日 ～ 2月21日	いわき芸術文化交流館アリオス (福島県いわき市)	44名	ホール入門コース 20名 自主事業(音楽)コース 16名 公立ホール・劇場マネージャーコース 8名
令和 2 年度	オンラインセッション	令和 3年 2月24日 ～ 2月26日	オンライン	129名	シンポジウム 一部 56名 二部 53名 ワークショッププログラム 20名
令和 3 年度	豊橋セッション	令和 4年 2月15日 ～ 2月18日	穂の国とよはし芸術劇場PLAT (愛知県豊橋市)	38名	ホール入門コース 13名 自主事業コース 13名 公立ホール・劇場マネージャーコース 12名

3,442 名 (令和3年度終了時点での修了者)

1 事業概要

3 都道府県別参加者数

単位：名

	累計		
		うち 直近5年間	
			うち 令和3年度
北海道	127	23	3
青森県	20	5	1
岩手県	54	13	0
宮城県	44	4	0
秋田県	11	2	1
山形県	24	5	1
福島県	46	5	0
茨城県	74	14	0
栃木県	27	8	0
群馬県	38	4	1
埼玉県	129	21	3
千葉県	50	5	1
東京都	206	21	1
神奈川県	181	18	2
新潟県	80	4	0
富山県	88	3	0
石川県	39	1	1
福井県	41	6	0
山梨県	8	0	0
長野県	89	15	1
岐阜県	128	4	0
静岡県	139	9	0
愛知県	240	49	8
三重県	63	9	3
滋賀県	77	5	0
京都府	45	3	2
大阪府	116	24	0
兵庫県	157	24	3
奈良県	20	0	0
和歌山県	8	0	0
鳥取県	67	10	0
島根県	42	5	1
岡山県	44	7	2
広島県	119	10	0
山口県	56	3	0
徳島県	29	1	0
香川県	26	2	0
愛媛県	19	2	0
高知県	44	5	0
福岡県	266	46	2
佐賀県	18	0	0
長崎県	91	5	0
熊本県	61	5	0
大分県	68	9	1
宮崎県	41	4	0
鹿児島県	36	2	0
沖縄県	46	2	0
合計	3442	422	38

Ⅱ 令和3年度事業

II 令和3年度事業

1 事業概要

ステージラボ 豊橋セッション

開催期日	令和4年2月15日（火）～2月18日（金）
開催会場	穂の国とよはし芸術劇場 PLAT （愛知県豊橋市西小田原町123番地）
開催体制	主催：一般財団法人地域創造、公益財団法人豊橋文化振興財団 共催：豊橋市 後援：愛知県
対象者 ※	「ホール入門コース」 公共ホール・劇場（開館準備のための組織を含む。）において、業務経験年数1年半未満程度（開館準備のための組織にあっては年数不問）の職員。 「自主事業コース」 自主事業を実施している公共ホール・劇場で、舞台芸術の自主事業に積極的に取り組みたいと考えている、業務経験年数が2～3年程度の職員。 「公立ホール・劇場マネージャーコース」 公共ホール・劇場において管理職程度の職責を持つ方。

※指定管理者である民間事業者の職員を含む。

II 令和3年度事業

2 参加者の属性

(1) 豊橋セッション

単位：名

コース名	ホール入門	自主事業	公立ホール・劇場 マネージャー	合計
参加者数	13	13	12	38

参考：参加申込者数85名

①都道府県別

	入門	自主事業	マネージャー	合計
北海道	1	1	1	3
青森	1			1
岩手				
宮城				
秋田			1	1
山形			1	1
福島				
茨城				
栃木				
群馬		1		1
埼玉	2	1		3
千葉			1	1
東京	1			1
神奈川	1	1		2
新潟				
富山				
石川			1	1
福井				
山梨				
長野		1		1
岐阜				
静岡				
愛知		4	4	8
三重		2	1	3
滋賀				
京都	2			2
大阪				
兵庫	2	1		3
奈良				
和歌山				
鳥取				
島根	1			1
岡山	1		1	2
広島				
山口				
徳島				
香川				
愛媛				
高知				
福岡	1	1		2
佐賀				
長崎				
熊本				
大分			1	1
宮崎				
鹿児島				
沖縄				
合計	13	13	12	38

②採用形態別

	入門	自主事業	マネージャー	合計
地方公共団体職員（財団への派遣・出向を含む）	3	4	3	10
施設管理団体（財団・NPO法人等）採用職員	9	7	8	24
施設管理団体（民間事業者）採用職員		1	1	2
その他	1	1		2
合計	13	13	12	38

③性別

	入門	自主事業	マネージャー	合計
男	13	7	9	29
女		6	3	9
合計	13	13	12	38

④年代別

	入門	自主事業	マネージャー	合計
20代	12	6		18
30代	1	7	2	10
40代			6	6
50代			4	4
合計	13	13	12	38

II 令和3年度事業

3 コーディネーター・講師一覧

ステージラボ 豊橋セッション

【コーディネーター】

○ホール入門コース

小川 智紀（認定NPO法人STスポット横浜理事長）

○自主事業コース

田上 豊（劇作家・演出家、田上パル主宰、富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督）

○公立ホール・劇場マネージャーコース

会田 大也（山口情報芸術センター[YCAM]アーティスティックディレクター）

【講師】

○ホール入門コース

高森 順子（愛知淑徳大学助教、阪神大震災を記録しつづける会事務局長）

宮下 美穂（NPO法人アートフル・アクション事務局長）

吉野 さつき（愛知大学教授）

○自主事業コース

白神 ももこ（振付家、演出家、ダンサー、モモンガ・コンプレックス主宰、富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督）

多田 淳之介（演出家、東京デスロック主宰）

津村 卓（一般財団法人地域創造プロデューサー）

加賀田 浩二（岡山芸術創造劇場ハレノワ）

大池 容子（劇作家・演出家、うさぎストライブ主宰）

○公立ホール・劇場マネージャーコース

太下 義之（文化政策研究者、同志社大学教授）

出口 亮太（長崎市チトセピアホール・北公民館館長）

原 久子（大阪電気通信大学教授）

作田 知樹（Arts and Law 理事、ファウンダー）

○共通プログラム

井田 亜彩実（振付家・ダンサー、Arche 主宰）

黒須 育海（振付家・ダンサー、ブッシュマン主宰・コンドルズ）

II 令和3年度事業

4 スタッフ一覧

ステージラボ豊橋セッション

○一般財団法人地域創造

濱田 裕正（芸術環境部企画課長）

津村 卓（プロデューサー）

児玉 真（プロデューサー）

〔ホール入門コース〕 崎山 碧乃

〔自主事業コース〕 田中 舞

〔公立ホール・劇場マネージャーコース〕 児島 美穂

〔事務局〕 栗林 礼也、藤原 加奈、吉川 剛史、梅村 尚幸

○公益財団法人豊橋文化振興財団

矢作 勝義（芸術文化プロデューサー）

上栗 陽子（事業制作部 事業制作リーダー）

〔ホール入門コース〕 飯田 幸司

〔自主事業コース〕 伴 朱音

〔公立ホール・劇場マネージャーコース〕 高槻 尚輝

II 令和3年度事業

5 実施日程（参加者募集～研修実施の流れ）



Ⅲ ステージラボ

豊橋セッション

Ⅲ ステージラボ 豊橋セッション

1 コーディネーター・講師紹介

(1) ホール入門コース

●コーディネーター

小川 智紀（認定 NPO 法人 ST スポット横浜理事長）

[メッセージ]

感染症拡大防止対策。臨時職員欠員補充。文化施設大規模改修計画。私たちを取り巻く環境が厳しいのはもったいなのですが、それにしてもお腹が減るものです。文化施設職員というもの、たっぷり寝て食べて遊んでこそ、地域の人たちを気持ちよく迎えられます。日々の生活の中にある、文化や芸術につながる契機を再確認してみませんか。

今後の公共ホール・劇場を想定したとき、アート好き以外の人たちに対して、どのように向き合っていくのが重要になってきます。子どもたち、障害のある人、地域活動に熱心な人たち、学校の先生、役所の人たち。彼ら彼女らとみなさんの時間の過ごし方が、そのまま地域の文化の方向性を決めていくはずですよ。

愛知県の中核都市・豊橋という場所で、各地域の実情を持ち寄り、たっぷり話をし、まちをいっしょに歩いてみましょう。地域文化についてのまたとない研修の機会、ふるってご参加ください。

[プロフィール]

1999 年より芸術普及活動の企画制作に携わる。04 年、ST スポット横浜の地域連携事業立ち上げに参画し、14 年より理事長。アート NPO や文化施設と学校の連携事業・横浜市芸術文化教育プラットフォーム、横浜の地域文化をサポートする助成金事務局・ヨコハマアートサイト、厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業全国連携事務局、神奈川県障がい者芸術文化活動支援センターの各事業を担当。そのほか自治体の文化計画策定や、民間企業の社会貢献プログラム策定支援などの基盤整備、アーツカウンシル東京・芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティブUILDING講座などの人材育成にも関わる。

NPO 法人アート NPO リンク事務局長。NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク理事。NPO 法人子どもと文化全国フォーラム理事。愛知大学文学部非常勤講師。

●講師

高森 順子（愛知淑徳大学助教、阪神大震災を記録しつづける会事務局長）

宮下 美穂（NPO 法人アートフル・アクション事務局長）

吉野 さつき（愛知大学教授）

(2) 事業入門コース

●コーディネーター

田上 豊（劇作家・演出家、田上パル主宰、富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督）

[メッセージ]

ステージラボの醍醐味は、劇場やホールで働く全国の同志に出会えることです。この同志は、その後、折に触れていろんな情報交換や相談を行える「友人」となってくれるでしょう。ラボを起点に地域間で共同事業に発展したケースもあります。まずは制作者同士のネットワークを作っただけでなく、それが大切で、これは、制作者として孤立しないための環境づくりでもあります。

コースの内容としては、自主事業の中でも、教育・交流事業と創造事業に的を絞り、皆さんの地域で今後実施していくには何が必要か、またどんな視点に立つべきかを考察しながら、実践的なレクチャーおよびワークショップ形式で進めていきます。個々の想いや考えを出発点に、建設的に事業化していくためのバランス感覚や知識や教養を深め、対外的に説明責任を果たす。制作者に必要とされる様々なことを一つずつ吟味して参りましょう。私以外に外部講師を招聘し、様々なアーティストとその世界観にも出会っていただきます。このラボを、自分の地域に必要な自主事業への閃きや、その事業を発展させるためのヒントを獲得できるような機会にしていだければと思います。

[プロフィール]

劇作家／演出家／田上パル主宰。埼玉県富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督。1983年熊本県生まれ。桜美林大学文学部総合文化学科卒業。在学中に劇団「田上パル」を結成。方言を多用し、軽快なテンポと遊び心満載の演出で「揺らぐ人間像やその集団」を描き出すのを得意とする。劇団外でも、高校生、大学生とのクリエーション、市民劇団や公共ホール事業への書き下ろし、海外共同制作など、様々な形で活動を展開。特に近年では、全国各地で精力的に作品創作を行い、地域性を生かした演出法には定評がある。また、創作活動と並行して、創作型から体験型、育成講座まで幅広くワークショップも行う。

一般財団法人地域創造派遣アーティスト。劇団青年団演出部所属。奈良市アートプロジェクト〈古都祝奈良〉舞台芸術プログラムディレクター。芸術文化観光専門職大学非常勤講師。

●講師

白神 ももこ（振付家、演出家、ダンサー、モモンガ・コンプレックス主宰、富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督）

多田 淳之介（演出家、東京デスロック主宰）

津村 卓（一般財団法人地域創造プロデューサー）

加賀田 浩二（岡山芸術創造劇場ハレノワ）

大池 容子（劇作家・演出家、うさぎストライプ主宰）

(3) 公立ホール・劇場マネージャーコース

●コーディネーター

会田 大也 (山口情報芸術センター[YCAM]アーティスティックディレクター)

[メッセージ]

公立のホールや劇場が、文化芸術を育む場となる場合、設置主体である自治体や地域の住民、作品の制作や発表を行う表現者など、様々な人たちの思いが、その場を巡ります。マネージャーの立場にある人には、それぞれの立場の人々の話に耳を傾け理解をした上で、文化芸術を持続可能な形で運用していくための舵とりが求められます。来場するお客様の笑顔を望むという素朴な思いを胸に抱いて日々の業務を遂行する一方で、この仕事は大げさに言えば民主主義のために必要な機能の一翼を担っているとも言えます。日々の活動が永続的に続く息の長い文化の涵養に繋がると思えば、責任は重大です。ただし適切なガバナンス、運用の方法論については「こうすれば良い」という短絡的な結論がある訳でもない、というのもまた事実です。本コースでは、ホールの管理者、行政の関係者、マネジメントの立場、アーティストなど様々な立場の講師を招いて、一筋縄ではいかないという現実に向き合い、長い時間をかけて考えていくべき課題にしっかりと向き合ってみたいと思います。一緒に考えていこうと思う、意欲的な皆さんのご応募をお待ちしております。

[プロフィール]

山口情報芸術センター[YCAM]で、2003年の開館より11年間、チーフエデュケーターとして教育普及を担当。メディアリテラシー教育、美術教育、地域プロジェクトの分野でプログラムを開発実施した。一連のメディアワークショップにてキッズデザイン大賞受賞、担当した企画展示「コロガル公園シリーズ」が、文化庁メディア芸術祭、グッドデザイン賞などを受賞。個人の作家としても岐阜県美術館、瀬戸内国際芸術祭、さっぽろユキテラス、NTT インターコミュニケーション・センターなどでアート作品の発表を行う一方で、(株)三越伊勢丹やVIVITA株式会社、(株)Mistletoeなどといった企業とも協働し、学校以外の場所での教育プログラムの開発や運営に携わる。東京大学大学院 GCL-GDWS 機構特任助教を経て、2019年、2022年のあいちトリエンナーレ／国際芸術祭「あいち 2022」においてキュレーター（ラーニング）を担当。現在、山口情報芸術センター[YCAM]アーティスティックディレクター。

●講師

太下 義之 (文化政策研究者、同志社大学教授)

出口 亮太 (長崎市チトセピアホール・北公民館館長)

原 久子 (大阪電気通信大学教授)

作田 知樹 (Arts and Law 理事、ファウンダー)

III ステージラボ 豊橋セッション

2 研修プログラム

■ 2月15日（火） 第1日

	ホール入門コース	自主事業コース	公立ホール・劇場マネージャーコース
	コーディネーター 小川 智紀 認定NPO法人STスポット横浜理事長	コーディネーター 田上 豊 劇作家・演出家、田上パル主宰、富士見 市民文化会館キラリふじみ芸術監督	コーディネーター 会田 大也 山口情報芸術センター[YCAM] アーティスティックディレクター
主会場	研修室大	アトスペース	主ホール
9:00			
10:00			
11:00			
12:00			
13:00			
14:00	13:30～ 受付		
14:00～	開講式・オリエンテーション 会場：アトスペース		
15:00	15:00～17:30 ゼミ1「知る、話す」 講師：小川 智紀 会場：研修室大	15:00～18:00 ゼミ1「ワークショップ体験+ レクチャー①」 講師：白神 ももこ、 多田 淳之介、 田上 豊 会場：アトスペース	15:00～17:30 ゼミ1「イントロダクション」 講師：会田 大也 会場：主ホール
16:00			
17:00			
18:00			
19:00			
20:00			
21:00			

■ 2月16日（水） 第2日

	ホール入門コース	自主事業コース	公立ホール・劇場マネージャーコース
	コーディネーター 小川 智紀 認定NPO法人STスポット横浜理事長	コーディネーター 田上 豊 劇作家・演出家、田上パル主宰、富士見 市民文化会館キラリふじみ芸術監督	コーディネーター 会田 大也 山口情報芸術センター[YCAM] アーティスティックディレクター
主会場	研修室大	アールスペース	主ホール
10:00			
11:00	10:00～11:30 ゼミ2「あるく、さがす」 講師：小川 智紀 会場：豊橋市三の丸会館	10:00～12:30 ゼミ2「レクチャー②」 講師：津村 卓、加賀田 浩二、 大池 容子、田上 豊 会場：アールスペース	10:00～12:30 ゼミ2「ゲスト講師によるレク チャー」 講師：太下 義之、出口 亮太、 原 久子、作田 知樹 会場：主ホール
12:00	昼食・休憩		
13:00		昼食・休憩	昼食・休憩
14:00	13:30～15:30 ゼミ3「つたえる、知る」 講師：高森 順子 会場：研修室大	13:30～17:15 ゼミ3「自分たちで作る作品 or WSプログラム①」 講師：田上 豊、大池 容子 会場：アールスペース、 アールスペース楽屋、 創造活動室C	13:30～17:15 ゼミ3「参加者、ゲスト講師を 交えた形でのディスカッ ション」 講師：太下 義之、出口 亮太、 原 久子、作田 知樹、 会田 大也 会場：主ホール
15:00	(適宜休憩)		
16:00	休憩	(適宜休憩)	(適宜休憩)
17:00	15:45～17:15 ゼミ4「思い出す」 講師：小川 智紀 会場：研修室大		
	休憩・移動（15分程度）	休憩・移動（15分程度）	休憩・移動（15分程度）
18:00	17:30～19:30 共通プログラム「PLAT『ダンス・レジデンス』ショーイング 地域におけるダンス事業の可能性を考える」 出演：井田 亜彩実、黒須 育海 会場：アールスペース		
19:00			
20:00			

■ 2月17日（木） 第3日

	ホール入門コース	自主事業コース	公立ホール・劇場マネージャーコース
	コーディネーター 小川 智紀 認定NPO法人STスポット横浜理事長	コーディネーター 田上 豊 劇作家・演出家、田上パル主宰、富士見 市民文化会館キラリふじみ芸術監督	コーディネーター 会田 大也 山口情報芸術センター[YCAM] アーティスティックディレクター
主会場	研修室大	アールスペース	主ホール
10:00			
11:00	10:00～11:30 ゼミ5「出かける、みつける」 講師：小川 智紀 会場：研修室大、 まちなか図書館	10:00～11:45 ゼミ4「自分たちで作る作品 or WSプログラム②」 講師：田上 豊、大池 容子 会場：アールスペース、 アールスペース楽屋	10:00～12:00 ゼミ4「本プログラムで得られ たことを全員でシェア」 講師：会田 大也 会場：主ホール
12:00	昼食・休憩	昼食・休憩	12:00～12:30 アンケート記入・休憩
13:00			12:30～13:00 修了式 会場：主ホール
14:00	13:00～15:00 ゼミ6「ゆらぐ、生まれる」 講師：宮下 美穂 会場：研修室大	13:00～14:45 ゼミ5「自分たちで作る作品 or WSプログラム③」 講師：田上 豊、大池 容子 会場：アールスペース、 アールスペース楽屋	
15:00	休憩	休憩	
16:00	15:30～17:30 ゼミ7「出あう、かかわる」 講師：吉野 さつき 会場：研修室大	15:00～19:30 ゼミ6「自分たちで作る作品 or WSプログラム④」 講師：田上 豊、大池 容子 会場：アールスペース、 アールスペース楽屋	
17:00		(適宜休憩)	
18:00	休憩		
19:00	18:00～19:30 ゼミ8「かんがえる」 講師：小川 智紀 会場：研修室大		
20:00			

■ 2月18日（金） 第4日

	ホール入門コース	自主事業コース	公立ホール・劇場マネージャーコース
	コーディネーター 小川 智紀 認定NPO法人STスポット横浜理事長	コーディネーター 田上 豊 劇作家・演出家、田上パル主宰、富士見 市民文化会館キラリふじみ芸術監督	コーディネーター 会田 大也 山口情報芸術センター[YCAM] アーティスティックディレクター
主会場	研修室大	アールスペース	
9:00			
10:00	9:30～11:30 ゼミ9 「出あいなおす」 講師：小川 智紀 会場：研修室大	9:30～11:30 ゼミ7 「作品発表・WS体験会」 講師：田上 豊、大池 容子 会場：アールスペース	
11:00			
12:00	11:30～12:00 アンケート記入・休憩・移動	11:30～12:00 アンケート記入・休憩・移動	
13:00	12:00～13:00 修了式 会場：アールスペース		
14:00	※修了式後、各コース毎に解散	※修了式後、各コース毎に解散	
15:00			
16:00			
17:00			
18:00			
19:00			
20:00			

III ステージラボ 豊橋セッション

3 各コースについて

(1) ホール入門コース

①総評

コーディネーター 小川 智紀

「内面化のレッスン」

自分の手にあまることってあります。わたしの場合は、芸術文化分野での人材育成もさることながら、無駄に高いところにある蛍光灯の取り換えや、やや異音を伴う洗濯機の排水溝の掃除なども、手にあまるのです。どうしよう、困ったなと思いながら牛乳を飲み、石鹸で手を洗ってみるのです。

どうやら最近はビジネスに限らず劇場界限でも、仕事を自分で抱えるのではなく、作業を業者に外注することが鉄則なのだそうです。経理業務を外注し、受付業務を投げ、チケットセンター及びコールセンターをアウトソーシングする。ホールのスタッフは管理業務を中心に行い、どんどん代理店化していくようです。

評価も重要です。自分がかかわりを持っていることも、他の人に分かるよう説明する必要があるみたいです。だから、コトではなくモノとして、定量的に測っていく。そこで起こっているのは、自分自身の客観化・外部化といえるかもしれません。わたしではなく匿名的なスタッフ1名の働きについて、合理的な説明が求められているのです。

昨秋、劇場・ホールの勤務経験の少ない参加者に対してレクチャーを、とそれぞれの講師にお願いしたところ、驚くほど同じ答えが返ってきました。「芸術文化の社会的機能を問い直す前に、まず自分のことが分からないと、先に進まないよね」と。自分は何者なのか。自分の能力を数え上げるのではなく、何者でもないわたしの再確認からしかはじまらないのではないかと。必然的に三人のレクチャーは、簡単に答えが出ない問いに、さらに問いを重ねていくような根源的な内容となりました。

言葉になること、ならないこと、そもそも言葉にできないことがある中、劇場スタッフのような人の「あいだ」に立つ人は、だからこそ言葉にしていく使命があるのではないかと語ってくれた高森順子さん。価値判断を避けた両論併記に似ている「多様性」という言葉を越えて、その先にある「複雑さ」に思いを馳せてみるのもいい、と提案してくれた宮下美穂さん。会いたい人と会うことの難しさを学生と体験する毎日の中で、たまたま知り合いになったホームレスの女性と自分の距離を測りかね、迷うさまを伝えてくれた吉野さつきさん。

そして動いてみる。自分の足で歩き、路面電車で揺られ、喫茶店のお姉さんと話をし、仲間の声に耳を傾けてみる。豊橋のまちにある劇場、図書館、公園の一角にある庭園に出かけながら、参加者は自分の足場を見直す機会になったでしょうか。

立場を超えて人と出会うのは難しいものです。ましてや相手の思いを、まるごと受け止めていくのは至難のわざです。だからといって雑多な情報のみで構成された、人のおいのしないメディアに無批判に身をゆだねたら、くすぶっている世の中の偏見や憎悪にすぐ塗れてしまうでしょう。それでも外部化され管理され、バラバラになっていく世界をつなぎとめることはできるのでしょうか。

おそらく対象を簡単に内面化するためのレッスンは存在しません。だって、技法にならないからです。まずわたしたちは、人が人と出会う場である劇場のスタッフとして、人と向き合いながらわたしのありようを確認し、毎日を愉快地に過ごしていくところからはじめるのでしょうか。

(1) ホール入門コース

②ゼミ記録

第1日 2月15日(火)

ゼミ1「知る、話す」

講師：小川 智紀

13人の参加者の自己紹介。ホール勤務経験が浅くドキドキしていたという参加者も、同様の参加者が全国にいることを知り驚いた様子。これからの四日間は、さまざまな講師によるレクチャーと並行して、連日まちに出かけるプログラムも予定しているため、大まかな地域の事情もオリエンテーションした。

新幹線改札口から直結している PLAT だからこそ施設内だけでなく、路面電車に乗り、まちなかの商店街を歩き、公園に出かけることを推奨する。コロナ禍で飲食店が早い時間に閉店するため、豊橋名物を堪能できるよう、ランチの時間を長めに確保した。参加者の中には、居心地のいいカフェを見つけた！と報告する猛者もいた。



第2日 2月16日(水)

ゼミ2「あるく、さがす」

講師：小川 智紀

ゲスト：矢作 勝義（穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 芸術文化プロデューサー）

会場：豊橋市三の丸会館

愛知名物のモーニングサービスを提供する喫茶店や、太極拳の練習をする人たちを横目に、参加者各自が徒歩や路面電車などにより、豊橋公園内にある三の丸会館へ移動した。三の丸会館は、お茶会も頻繁に行われる、PLAT と同じ豊橋文化振興財団が指定管理者を務める施設だ。

車座に座り、PLAT の芸術文化プロデューサー・矢作勝義さんに、豊橋の地域性と劇場のプログラムの方向性についてお話を伺う。東三河地域での中核である一方、奥ゆかしさもある豊橋の人たち。2013年の開館の1年前から自身も住み込み、この地域へのアプローチを続けてきた矢作さんは、商店街の活動を支えてきた景気がコロナ禍でしぼんだことを残念がっていて、地道な活動の重要性を説いた。参加者からは「地域の人たちやまちを理解しようとすることの大切さを感じた」などの声があった。



ゼミ3「つたえる、知る」

講師：高森 順子（愛知淑徳大学助教、阪神大震災を記録しつづける会代表）

話しことば・書きことばを記録する実践を行う高森順子さんによるレクチャー。活動を現在も続ける「阪神大震災を記録しつづける会」での手記執筆者との対話の場づくりや、「あいちトリエンナーレ2019」での来場者との対話を基盤にしたラーニング記録の事例が語られた。「言葉で考えることを諦めない」という強い意志が、参加者のようなものごとの「あいだ」に立つ人間には求められているという強いメッセージが届けられた。

後半は、参加者が「自分の居場所」をテーマに撮影してきた写真を、別の参加者が選んでキャプションをつけてみるというワークを行った。撮影者にとって予想外の写真が選ばれることが多く戸惑う参加者もいたようだが「意外と思っていたことが伝わり、納得できた」「誤読が必ずしも悪いことではないと分かった」といった感想があった。



ゼミ4「思い出す」

講師：小川 智紀

残っていただいた高森さんとともに、きょう一日の課題を振り返る。参加者の撮影してきた「自分の居場所」の写真を見直した。



第3日 2月17日(木)

ゼミ5「出かける、みつける」

講師：小川 智紀

ゲスト：増田 隆人（豊橋市まちなか図書館企画連携グループ）

会場：豊橋市まちなか図書館

2021年に豊橋に新たにオープンした「まちなか図書館」について、市役所職員で、まちなか図書館企画連携グループの増田隆人さんにご説明いただいた。「世界を広げ、まちづくりに繋げる“知と交流の創造拠点”」として機能することをミッションに、従来の公立図書館像を一新する構想を持つ施設である。事業を展開する中で、本来は手段であるものが目的のように思われている場合も多い、という増田さんの指摘は共感を得て、参加者はうなづくことしきり。

その後、徒歩数分の現地へ移動し、館内を見学した。くつろげる場所、子どもと一緒にいられるところ、調べ物ができるスペースなど、ゾーンわけが明確にされている。従来の図書館分類に縛られない、本同士のつながりに着目したおしゃべりな本棚など、随所に工夫が凝らされていた。参加者からは、自身の仕事を顧みながら「その施設だからこそ提供できることを見つけ、スタッフ間で共有し、施設のミッションを満たしたいと思った」との声があがった。



ゼミ6「ゆらぐ、生まれる」

講師：宮下 美穂（NPO 法人アートフル・アクション事務局長）

クソガキたちの参加により掻き乱された挙句、大人の関与のあり方を再考させる契機となり、大人の限界を突きつけられた「タマのカーニバル」。ハンセン病患者の療養施設見学を凶工の時間につなげたら、差別／被差別の構造を超えた小学生の意見がこぼれ出てきた「わたしの人権の森」。コロナ禍の最中、海外にルーツを持つ人たちとの文通から始まった「pen友プロジェクト」。いずれも宮下美穂さんが関わった魅力的なアートプロジェクトだ。彼女はプロジェクトの詳細を語ることよりも、背景にある考え方を伝えようと試みた。

李静和『つぶやきの政治思想』や、緒方正人『チツソは私であった』などのテキストを参考に、あなたは思う？と問いかけながらのレクチャー。水俣地域で伝えられる言葉である、悶えることで加勢する「悶え加勢(かせ)」とは何か。「自分のコミュニティとは違うところにいる他者とかかわること。その難しさについてあらためて気づかされた」との参加者の感想があった。



ゼミ7「出あう、かかわる」

講師：吉野 さつき（愛知大学教授）

豊橋にある、愛知大学文学部人文社会学科現代文化コースのメディア芸術専攻の学生たちは、つながりとしてのアートに焦点を置いて、日々学んでいる。ワークショップ・コーディネーターとして長く活動する吉野さつきさんは、学生たちの関心とアートプロジェクトが接続するよう見守っている。開館時間中の田原市中央図書館で、大勢の市民たちが歌ったり踊ったりしながら移動していく「うたう図書館」をはじめ、身近にありながらも踏み込む機会の持ちにくい場所に学生たちと出かけて行った。

学生たちの卒業制作プロジェクト「ロゴゴロゴロカタチ」では、タイポグラフィを切り口に、聴覚障害のある子どもたちや、在日コリアンのコミュニティと出会う。その関わりの得がたさ、むずかしさ。豊橋駅前の一角で大荷物を脇に置き四六時中腰掛けている友人・みっちゃんについても話題が及んだ。参加者からは「自分のまわりだけにとどまらず、新たな世界にも勇気をもって飛び込んでいきたい」との感想があった。



ゼミ8「かんがえる」

講師：小川 智紀

クライマックスとなったきょう一日の出会いから考えたことを、グループごとに分かれて話をしてみる。自分の施設のことを思い返すと、どのチームも話が止まらなくなる。



第4日 2月18日(金)

ゼミ9「出あいなおす」

講師：小川 智紀

最終日は、並行して進行していた自主事業コースの発表の日。創作されたワークショップ・プログラムに参加し、短い演劇作品を見てみる。ワークショップの進行具合に脱力したり、演劇作品のあるある感に大きくうなずいたり。あらためて、ホールの魅力を感じた。

その後、コーディネーターによる、あらためての自己紹介。劇場運営からスタートし、教育・まちづくり・福祉分野にまたがるアートNPOの活動を通して、あらためて参加者が自らの仕事を見直す契機となった。



(2) 自主事業コース

①総評

コーディネーター 田上 豊

ステージラボ豊橋セッション自主事業コースに参加された皆さん、四日間の研修プログラム本当にお疲れ様でした。この難しい時期に参加していただいたことに感謝の念が尽きません。ありがとうございました。実施直前には参加者の辞退連絡も相次いたラボでしたので、無事に終了できたことが奇跡のように思えてならず、私自身、非常に記憶に残る研修会となりました。

自主事業コースの皆さんは、自主事業を企画立案する立場にある（もしくは、これから担う）方々でした。ゼミ1の際に今現在のみなさんの悩みを伺いましたね。その内容は千差万別でどれも切実なものであり、総じて孤軍奮闘の現状に少々お疲れ気味である印象を受けました。きっとこのラボでそれぞれの悩みを打破するためのヒントを得ようと参加された側面もあると思います。実際、そういったニーズに応えることもラボにおけるミッションの一つですので、ラボで培ったものがみなさんの心の栄養になってくれることを願っています。

さて、参加者の皆さん、挨拶文にも記したことわざ「一人でなら早く行ける、みんなでなら遠くに行ける」の体験はいかがだったでしょうか。普段の仕事で抱えている孤独や憂いから一旦距離を置き、他者との協働作業の末に何かを見出してもらいたい。そんな思いで此度の研修プログラムを組んでみました。決して精神論を叩き込みたかった訳ではありません。馬車馬のようにして走り抜けた四日間でしたが、今一度全てのゼミを思い出してみてください。ラボ初日、多田さん、白神さんからアーティストとしての視座とは何かをワークショップの中で伝えていただきました。翌日は、津村さんと加賀田さんから制作者視点で事業を体系的に捉える知識とバランス感覚を伝授されましたね。これら全てに制作者として今後生きていくための大切な知恵が溢れていました。どうか、様々な講師の皆さんから得たヒントとエールは忘れずにとっておいてください。その後は一転してものづくりに時間を費やしました。他者とアイデアを共有すること、アイデアを増長させ吟味すること、表現をすること、表現を高めること、暫定的でも表現者としての覚悟を決めること。演劇創作やアウトリーチのプログラム作りを通して答えのない共同作業の真髄を嫌というほど味わったのではないかと思います。とは言え、本番を終えた後の皆さんの清々しい顔といったら！この達成感を実演家の立場として追体験していただけるなんて…非常に胸熱でコーディネーター冥利に尽きる思いでした。

ゼミの中でも触れましたが、ここ数年、舞台芸術は未曾有の苦難に直面しています。演劇の場合、対面を基本とする表現の特性上、作品創作もアウトリーチ事業もアーティストはその都度四苦八苦しながら現場を乗り越えている現状があります。きっとしばらくはこの現実と向き合いながら歩みを進めるしかありません。やはり、この難局においてはアーティストもより一層制作者の皆さんと知恵を出し合いながら未来を創造していくことが必要不可欠です。だからこそ、制作者のみなさん、私たちのような実演家と粘り強く関わることを止めないでください。ただし！アーティストのわがままに振り回された時は、今回のラボを共にした同志に是非愚痴ってください（笑）。繰り返して恐縮ですが、ラボの醍醐味は制作者の仲間が増えること。人脈が広がることは、何事にも代え難い財産です。なんて、どのツラ下げて偉そうなこと言ってんだと思われるかもしれませんが、私としましてもせっかくみなさんと出会えたことですし、シンプルに今回のコースの皆さんといつの日か同窓会ができる日を楽しみにしています。

最後になりましたが、ご多忙の中ゼミの講師を引き受けていただいた皆様、サブ講師を務めてくれた大池容子さん、自主事業コースのコーディネーターという貴重な機会を与えてくださった一般財団法人地域創造の皆さん、コーディネーターチームの小川さんと会田さん、そして、素晴らしいサポートの上、劇場の総スベックで尽力していただきました穂の国とよはし芸術劇場 PLAT の皆様に心から感謝いたします。程よい疲労感の中、豊橋からの帰りに見たあまりにも美しかった夕日が今でも瞼の裏に焼き付いています。

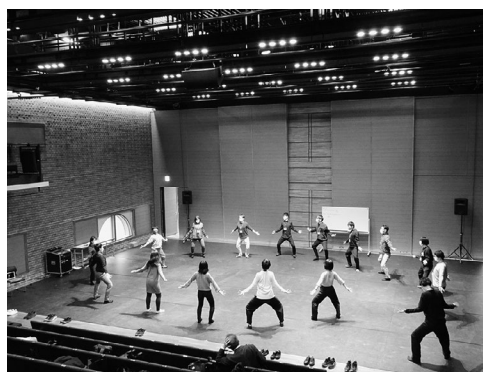
②ゼミ記録

第1日 2月15日(火)

ゼミ1「ワークショップ体験+レクチャー①」

講師：白神 ももこ、多田 淳之介、田上 豊

富士見市民文化会館キラリふじみ前芸術監督の多田淳之介さん、現芸術監督である白神ももこさんを招聘し、それぞれの表現ワークショップとレクチャーを行っていただきました。参加者達は、二人のワークショップを通してアーティスト性の強いワークショップのプログラムがどういったものなのかを感じることができたと思います。また、レクチャーでは、キラリふじみの過去の活動事例を紹介してもらいつつ、お二人の経験則からアーティストと協働する際の制作者としての必要不可欠な態度や考え方のコツを伝授してくれました。講座の最後に質疑応答の時間を取ったことで、参加者たち個々の悩みや葛藤が浮き彫りとなり、それに対して多田さんと白神さんが真剣かつユーモアを持って答えている姿が印象的でした。ワークショップを伴う良いオリエンテーションとなりました。



第2日 2月16日(水)

ゼミ2「レクチャー②」

講師：津村 卓、加賀田 浩二、大池 容子、田上 豊

劇場が実施する自主事業は、経験豊富な制作者に聞くのが一番である。ということで、地域創造プロデューサーの津村卓さん、岡山芸術創造劇場（令和5年9月開館予定）の加賀田浩二さん、この2名の制作者に加え、劇団うさぎストライプの大池容子さん、田上を含めた4者でトークセッションを展開しました。津村さんによる自主事業のための基礎概論は、創造・鑑賞・交流（アウトリーチ）の相互関係や事業（企画）立案の方法を捉え直すことができる内容で、非常に濃い学びとなりました。続いての加賀田さんのトークでは、事業を推進するために必要なパワーと戦略と戦術、そして何よりも「事業を担当する上での信念」について触れていただき、まるで参加者の背中を押してくれているようでした。お二人の話によって、闇雲に悩むよりも学びの中から活路を見出すことの有意義さを再確認していただけたのではないのでしょうか。



ゼミ3「自分たちで作る作品 or WS プログラム①」

講師：田上 豊、大池 容子

ゼミ1、2での知識や情報のインプットを経て、ゼミ3からはアウトプット（実践編）に突入。今後、自分の地域で展開したい自主事業への取り組みを念頭に、参加者それぞれが「演劇作品の創作（出演も含む）」もしくは「演劇の手法を使ったワークショップのプログラム作り」を選択しました。作品創作チームは、大池さんのワークショップ用台本を元にしたオリジナル劇づくり、ワークショップチームは、田上監修によるオリジナルワークショップのプログラム作りをスタート。演劇創作は2グループ編成、ワークショップ作りは1グループ、コース全体で3つのグループが同時進行で作業に励み、チームビルディングのための対話や会話が頻繁に行われた時間でもありました。



第3日 2月17日（木）

ゼミ4「自分たちで作る作品 or WS プログラム②」

講師：田上 豊、大池 容子

引き続き、チームに分かれて演劇創作とワークショップのプログラム作り。作品創作チームは、使用する台本（テキスト）が出来上がり、ホール内で立ち稽古を開始。大池さんの演出を受けながら、俳優作業の醍醐味を味わっていたようでした。一方、ワークショップチームは、自分たちが行うワークショップのコンセプトを「コロナで中止となった全体交流会を補う交流プログラム」に決定。その後、プログラム（実施内容）の組み立てに入りました。講師としては、参加者が発表に向けた緊迫感に押しつぶされそうになったり、発表物のクオリティにのみこだわり始めないよう作品創作や演劇ワークショップの意義を適宜伝えながら進めていきました。



ゼミ5「自分たちで作る作品 or WS プログラム③」

講師：田上 豊、大池 容子

両チーム共にいよいよある程度の形を成しておくべき時間帯となり、全体的に緊張感が出始めました。作品創作チームは、演出家による細かな修正が続き、さらに作品に音響や照明の効果が加えられ、目に見えて本格的な上演作品に仕上がっていきます。途中経過として、ワークショップチームに対して中間発表（作品のお披露目）も実施。鑑賞後にワークショップチームからの感想や意見を受けて、創作チームは作品のさらなるブラッシュアップに挑もうとする意識が高まっていきました。演出家（大池さん）からも「稽古慣れの弊害、演技の鮮度が落ちないための方法」という本格的な演技のレクチャーがありました。創作物の可視化は、ワークショップチームに良い影響を与えてくれたと思います。ワークショップチームは、プログラムづくりが大詰めとなり、次の段階であるファシリテーションのスキルやノウハウの取得作業に入っていました。



ゼミ6「自分たちで作る作品 or WS プログラム④」

講師：田上 豊、大池 容子

ワークショップチームは、一旦作ったプログラムに則りチーム内でのデモンストレーション（模擬実施）を繰り返してワークショップの練度をあげていきました。その過程でファシリテーションの注意点を洗い出していきますが、理想のイメージと自分たちの進行内容の乖離に挫折しそうな瞬間も散見されました。このタイミングで、創作チームに対して自分たちのオリジナルワークショップの体験をしてもらうことに。実施後、プログラムの中で自分たちが腑に落ちていない部分をどうやって打破すべきか思案が尽きず、時間いっぱいまでトライアンドエラーを繰り返していました。一人一人がワークショップ内での役割を全うしたいという意気込みは、創作チームへ違った角度から影響を与え、この頃になると、一日かけてお互いに影響を受けあった両チームから垣根を超えた連帯感が漂ってきました。



第4日 2月18日(金)

ゼミ7「作品発表・WS体験会」

講師：田上 豊、大池 容子

発表（演劇作品の上演と、オリジナル演劇ワークショップの実施）。

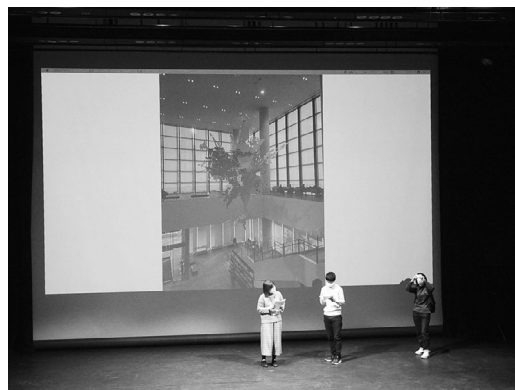
【オリジナル演劇ワークショップ】30分

ホール入門コースと自主事業コースの交流を図るため、「集団じゃんけん」や「ダルマさんが転んだ」といったコミュニケーションゲームを軸に進めていきました。実施側のチームワークが抜群で、プログラムの最後に行われたゲーム形式の自己紹介回し（個々が名前などを一言ずつテンポよく回していくもの）の中で「次に再会できるときにみんなでやりたいこと」を参加者全員で言い合っている姿はとても素敵でした。



【オリジナル演劇作品上演】20分

ホールの来客に対し、施設内を紹介しながら案内する不条理劇。舞台正面奥のスクリーンには出演者が持参した写真が投射され、それを元に物語が進行。劇中でタイムスリップしたり、何者かに襲われたり、見る側の想像力を喚起する仕掛けに溢れ、初めてとは思えない出演者（制作者）の熱演が観客の笑いを呼んでいました。制作者でも舞台上で体を張れる、という大きなメッセージがホール入門コースの皆さんにも伝わったことが素晴らしい！



作品鑑賞とワークショップを体験してくれたホール入門コースの皆さんから有難いご意見やご感想をいただき、以上で自主事業コース全てのゼミが終了。



(3) 公立ホール・劇場マネージャーコース

①総評

コーディネーター 会田 大也

今回、私が初めてコーディネーターを務めさせていただいた公立ホール・劇場マネージャーコースには、日本各地から公共の文化施設に勤め、マネジメントを担う方がコロナの状況にもかかわらず集ってきてくれました。

日々の業務の中から貴重な時間を割いてやってきてくれた皆さんのために、どんなカリキュラムを準備すべきか悩みましたが、結局は「自分の頭を使うワーク」という、私がいつも目指す内容にしようと腹をくくり、プログラム構成を考えました。

何かを学ぶというのは、必ずしも知識がコピー&ペーストされるような形で起こるわけではありません。ある時に出会った知識、人物の姿勢、物事の捉え方などが、数年後の重要なある局面で思い起こされ、その学びを得ていなかった時とは異なる判断が下せる、といったときに有効に作用するはずだ、と私は考えています。知識というのは、インプットではなく、アウトプットするときに定着するものですが、今回の研修においても、インプットだけではなく、アウトプットも同時に練りこんでいくような組み立てを目指し、3日間ある研修の半分の時間は、ブレインストーミングや発表資料作成などの時間に充てました。

特に2日目には、太下義之さん、原久子さん、作田知樹さん、出口亮太さんの4人のゲスト講師から、各々の自己紹介を兼ねた問題提起をしてもらった後、彼らも交えてのワールドカフェスタイルのディスカッションをたっぷり行いました。参加者の皆さんは各々の現場で抱える課題と、公共文化施設が置かれている昨今の状況という、ミクロからマクロまでの視点を行ったり来たりしながら、まさに自分の頭で考えることを強いられる研修となったはずです。非常に疲れる、慣れない作業に戸惑った方も多かったと思いますが、最終日の発表内容を見ると、「活動内容のアーカイブの重要性について」「地域の中でどんな社会的意義を全うするか」「文化セクター以外の福祉や教育などとのつながり方」といった、公共文化施設に求められる大切な視点を我がごととして持ち帰ってくださった様子が見て取れました。今後、公共文化施設は従来型の文化を保護したり保存したりする役割だけでなく、今回集ってくださった参加者の皆さんがマネジメントしている施設のように、創造的な活動を担保する重要な役割を担っていくことになるはずです。これらが、地域の企業や地域の支援者といった様々な立場の「応援団」からの厚いバックアップをもらって支えられている状況になるのであれば、これほど心強いことはありません。そうした未来の理想的な姿を形作るために、今回の研修が役立ったといつか言ってもらえる日が来るのならば、研修コーディネーターとしてはこれほどの喜びはありません。

最後になりますが、コロナの状況下で研修を実現させるために働いてくださった全てのスタッフの皆様へ感謝します。一般財団法人地域創造のこうした取り組みによって、日本の公共文化施設の活動が支えられているということも実感することができました。ありがとうございました。

②ゼミ記録

第1日 2月15日(火)

ゼミ1「イントロダクション」

講師：会田 大也

全体オリエンテーション・施設見学に引き続き行われた初日午後からの「イントロダクション」。ここでは、まず参加者同士の相互理解を深めるために、持ってきてもらった書籍の紹介を相互に行う形の自己紹介を行いました。その後、ワークシートを配布し埋めてもらう作業を行いました。この中では、横軸に「公共」「文化」「施設・館」と並べ、縦軸に「長期的なゴール」「至るための手段・プロセス」「自館の特徴・バリュー」を並べ、それぞれに思いつくこと、キーワードを記入してもらいました。当然最初は苦戦する前提で配布してありました。このワークシートは最終日にも改めて埋めてもらうことが前提です。そして、私が勤務する YCAM の見学対応向けの紹介スライドと、その実態についてをお話しさせていただきました。そのあとに、ワールドカフェの練習を兼ねて、「公共」というキーワードについて皆で議論をする時間を設けました。これで1日目は終了です。



第2日 2月16日(水)

ゼミ2「ゲスト講師によるレクチャー」

講師：太下 義之、出口 亮太、原 久子、作田 知樹

2日目は今回の研修のメインディッシュの日となりました。午前中の「ゲスト講師によるレクチャー」では、太下義之さん、原久子さん、作田知樹さん、出口亮太さんの4人のゲスト講師から各々の自

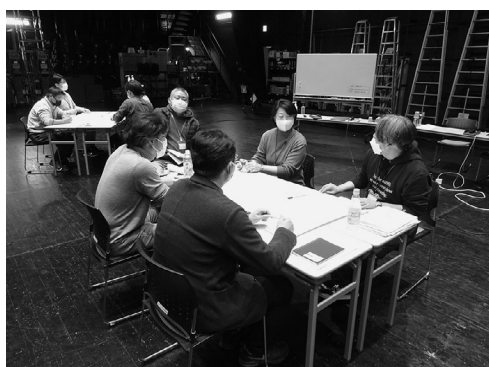
己紹介を兼ねて、公共文化施設についての問題提起をしていただきました。様々な視点からの指摘がありましたが、いずれも公共の文化施設を支えるのは単に利用者だけではなく、様々なステークホルダーが複層的な階層で支えてくれているという事実を創っていくことが、リスクヘッジにも繋がるというようなメッセージが込められているように感じました。そのためにはやれることは多くありそうだとということが提起されたのではないかと感じました。



ゼミ3「参加者、ゲスト講師を交えた形でのディスカッション」

講師：太下 義之、出口 亮太、原 久子、作田 知樹、会田 大也

午後に行われた「参加者、ゲスト講師を交えた形でのディスカッション」においては、ワールドカフェという形式を用いて、ゲスト講師も交える形で少人数グループでのディスカッションを席替えを繰り返しながら続けていきました。少人数であるのは、ただ話を聞くだけの人を生みださないための施策で、聞くだけでなく、人に話をするることによって思考を形成するということを目指したためです。また、せっかくこうした研修に集まったからには、相互の考え方や、立場、仕事上でのエピソードなども深く聞ける形を選んだ結果でもあります。コロナ禍において、懇親会など開きづらい状況の中、こうした形式でお互いの人となりや少しだけでも知っていける機会になったかもしれません。



第3日 2月17日(木)

ゼミ4「本プログラムで得られたことを全員でシェア」

講師：会田 大也

最終日は「本プログラムで得られたことを全員でシェア」ということで、初日に書き込んだのと同じワークシートを埋めてもらいました。初日の内容と見比べて、変化があったとしたらそれがこの研修の成果と言えます。日々の細かな課題に忙殺されてしまうと、「公共文化施設としての使命」といった大上段からの課題について中々考える時間が取れないというのも現実かと思えます。とはいえ、日々の細かな課題だけをこなしていけば、よい施設運営を目指せるのかというところも限らないのが現実です。私たちが預かっている公共文化施設は、新しい文化を未来に向けて制作していく現場でもあり、様々な考え方が生まれる最先端の場所でもあります。ありとあらゆる発想や表現が行えるという意味では、昨今そのあり方を根源から問われている「民主主義」の根幹を成す社会の要素の一部でもあるわけですね。ここまで大げさに考える人は少ないかもしれませんが、民意を反映するのが現実的に難しい、と考え込んでしまうような状況が次々と起きる世の中で、公共文化施設が担っている役割は決して小さなものではないと思っています。今後、各地の館が思いを持って運営されていく、各地方で実験的な活動がどんどん勃興していくような姿になればワクワクします。



III ステージラボ 豊橋セッション

4 共通プログラム

PLAT「ダンス・レジデンス」ショーイング 地域におけるダンス事業の可能性を考える

(1) 日時・会場

令和4年2月16日(水) 17:30 ~ 19:30 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT アートスペース

(2) 出演

井田 亜彩実 (振付家・ダンサー、Arche 主宰)

黒須 育海 (振付家・ダンサー、ブッシュマン主宰・コンドルズ)

(3) 概要及び目的

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT が 2017 年より実施している「豊橋アーティスト・イン・レジデンス『ダンス・レジデンス』」はアーティストが地域に滞在することによって劇場とその周辺にもたらす創造面の強化やアーティストの人材育成の場として効果がある一方、地域への貢献度を分かりやすく数値化することは難しく課題もある。そこで地域におけるダンスプログラムの可能性について語り合う場とすることを目的とし、PLAT で滞在制作された作品のショーイング上演と事例紹介、出演者やコーディネーターを交えたトークセッションをおこなった。

(4) 内容

初めに 2020 年 12 月に PLAT で滞在制作された『Re:Birth』をショーイング上演した。本番と同様に照明効果を入れて、細胞の分裂、退化、進化を男女デュオで表した 21 分の作品。暗闇のなか二つの身体が繊細に時にはダイナミックに交差し客席には緊張感が漂った。

次に、PLAT の建設に至る背景から本事業の実施経緯や主な事業紹介をした後、出演者 2 名に再登場していただき、滞在制作時の思い出話や、創作中の悩み、滞在后の成果などを語っていただいた。後半のトークセッションでは、コーディネーターの小川氏、田上氏、会田氏も交えて、質問や意見交換をし合った。

トークでは、当初ユニゾンのみで構成する計画をして滞在 4 日後に作品は出来たが、「違う」と思い全て壊すことにしたという話や、宿泊場所の一軒家で共同生活をしながら創作することによって他ダンサーと対話をする十分な時間を持つことができたという井田氏の話、滞在から約 1 年を経て現在に至るまで、創作と本番を継続したことによってより説得力を持つ作品に近づいたという黒須氏の話など、「レジデンスだからこそ出来たかもしれない」というアーティストの言葉が印象に残った。コーディネーターからは、施設担当者には環境面における“創らせ方”の発明が求められているという発言があった。出演者が再登場しトークの時間を用意したことで、参加者からは上演だけでなく振り返りの時間をもつことができてよかったという感想が多かったが、作品上演も含め「理解が難しかった」という声も一部あり、単純明解とはいえないこのような事業を展開するためには工夫が求められることを再認識した。

新型コロナウイルス感染症対策のため、今回はワークショップではなくショーイングとトークセッションの形式で実施した。直接的に交流することはなかったが、終了後、参加者がアーティストへコンタクトを取る場面もあり、自身の地域にどう活かせるか思考を巡らせることや発見する時間を提供することができたプログラムとなった。



IV 参加者リスト

IV 参加者リスト

1 ステージラボ 豊橋セッション

(1) ホール入門コース

01.北海道	あさお すみれ	公益財団法人札幌市芸術文化財団 芸術の森事業部管理課業務係	札幌芸術の森
	浅尾 すみれ		開館年 1986 年 札幌芸術の森美術館 -席/3,370㎡
No.	〒 005-0864 札幌市南区芸術の森2丁目75番地 TEL 011-592-5111 / FAX 011-592-4120		野外美術館 -席/75,000㎡ アートホール -席/5,834㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
02.青森県	あきもと ひなみ	八戸市 まちづくり文化スポーツ部 文化創造推進課 文化芸術推進員	八戸市公会堂、八戸市公民館、八戸市南郷文化ホール
	秋元 緋奈美		開館年 1975 年 公会堂 1,532席/1,495㎡
No.	〒 031-0031 八戸市大字番町10-4 (八戸市美術館内) TEL 0178-43-9156 / FAX 0178-38-0107		公民館ホール (公会堂文化ホール) 492席/694㎡ 南郷文化ホール 450席/565㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円～3,000万円未満
11.埼玉県	あんどう あゆみ	公益財団法人キラリ財団 事業担当 主任	富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ
	安藤 あゆみ		開館年 2002 年 メインホール (劇場型多目的ホール) 802席/236㎡
No.	〒 354-0021 富士見市大字鶴馬1803-1 TEL 049-268-7788 / FAX 049-268-7780		マルチホール (多機能型ホール) 255席/87㎡ 展示・会議室 40席/175㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
11.埼玉県	なりた よしえ	公益財団法人さいたま市文化振興事業団 事業課 主事	さいたま市文化センター
	成田 佳恵		開館年 1985 年 大ホール 2,006席/2,283㎡
No.	〒 336-0024 さいたま市南区根岸1-7-1 TEL 048-866-3467 / FAX 048-837-2572		小ホール 340席/486㎡ 多目的ホール 150席/320㎡ 自主事業 b. 1本～10本 事業予算 d. 3,000万円～5,000万円未満
13.東京都	うえだ はるか	公益財団法人武蔵野文化事業団 管理課	武蔵野スイングホール
	上田 悠		開館年 1996 年 スイングホール 180席/216㎡
No.	〒 180-0006 武蔵野市中町3-9-11 TEL 0422-54-8822 / FAX 0422-54-2014		レインボーサロン (レセプションルーム) 160～300席/375㎡ スカイルーム (会議室) 114席/236㎡ 自主事業 c. 11本～20本 事業予算 b. 1円～1,000万円未満
14.神奈川県	わたなべ かな	小田原市文化政策課 主事・市民ホール事業係	小田原市民ホール
	渡邊 佳奈		開館年 2021 年 大ホール 1,105席/4,211㎡
No.	〒 250-0012 小田原市本町1-7-50 TEL 0465-20-4152 / FAX 0465-24-5174		小ホール 296席/1,305㎡ 展示室 -席/190㎡ 自主事業 c. 11本～20本 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
26.京都府	やまがた ゆき	公益財団法人音楽芸術文化振興財団 ロームシアター京都 自主事業企画・広報	ロームシアター京都
	山形 ゆき		開館年 2016 年 メインホール 2,005席/-㎡
No.	〒 606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13 TEL 075-771-6051 / FAX 075-746-3366		サイスホール 716席/-㎡ ノースホール -席/301㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
26.京都府	いしかわ りさ	公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 事業管理部 コンサートホール管理課	京都コンサートホール
	石川 理佐		開館年 1995 年 大ホール 1,833席/1,620㎡
No.	〒 606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-26 TEL 075-711-2980 / FAX 075-711-2955		アンサンブルホールムラタ 510席/414㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満

28.兵庫県	ありま まほ 有馬 真帆	兵庫県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター） 業務部	兵庫県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター） 開館年 1978 年
	No. 9 〒 661-0012 尼崎市南塚口町3丁目17-8 TEL 06-6426-1940 / FAX 06-6426-1943		大ホール 396席/648㎡ 中ホール 200席/225㎡ 小ホール 100席/178㎡ 自主事業 c. 11本～20本 事業予算 f. 1億円以上
28.兵庫県	やまだ みき 山田 美樹	特定非営利活動法人コミュニティアートセンタープラッツ 技術	豊岡市民プラザ 開館年 2004 年
	No. 10 〒 668-0031 豊岡市大手町4-5 アイティ7F 豊岡市民プラザ TEL 0796-24-3000 / FAX 0796-24-3004		ほっとステージ 250席/236㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 b. 1円～1,000万円未満
32.島根県	もりもと あさみ 森本 麻美	公益財団法人しまね文化振興財団 文化事業課 主事	島根県芸術文化センター「グラントワ」 開館年 2005 年
	No. 11 〒 698-0022 益田市有明町5-15 TEL 0856-31-1860 / FAX 0856-31-1884		大ホール 1,585席/1,065.3㎡ 小ホール 466席/416.6㎡ 多目的ギャラリー -席/182.4㎡ 自主事業 c. 11本～20本 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
33.岡山県	にしかど しほ 西角 紫帆	公益財団法人岡山文化芸術創造 事業グループ 調査研究・情報担当	岡山芸術創造劇場 開館年 2023 年
	No. 12 〒 700-0823 岡山市北区丸の内2丁目1-1 岡山市民会館4階会議室 TEL 086-225-0154 / FAX 086-225-0156		大劇場 1,750席/5,588㎡ 中劇場 800席/2,834㎡ 小劇場 300席/1,277㎡ 自主事業 c. 11本～20本 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
40.福岡県	はしもと れな 橋本 鈴奈	久留米市 市民文化部 久留米シティプラザ 事業制作課 会計年度任用職員	久留米シティプラザ 開館年 2016 年
	No. 13 〒 830-0031 久留米市六ツ門町8-1 TEL 0942-36-3084 / FAX 0942-36-3087		ザ・グランドホール 1,514席/-㎡ 久留米座 399席/-㎡ Cボックス 144席/-㎡ 自主事業 b. 1本～10本 事業予算 c. 1,000万円～3,000万円未満

(2) 自主事業コース

01.北海道	かみかど だいき 上鹿渡 大希	公益財団法人札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ事業部 劇場事業課事業係 事務職員	札幌市民交流プラザ 開館年 2018 年 札幌文化芸術劇場 hitaru 2,302席/-㎡ クリエイティブスタジオ 400席/448㎡ 札幌文化芸術交流センター 150席/165㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
	No. 1 〒 060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 TEL 011-271-1950 / FAX 011-271-1949		
10.群馬県	しみず たくや 清水 琢哉	公益財団法人桐生市スポーツ文化事業団 文化事業部 文化事業課 文化振興係	美喜仁桐生文化会館 (桐生市市民文化会館) 開館年 1997 年 シルクホール 1,527席/1,946㎡ 小ホール 300席/757㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 d. 3,000万円～5,000万円未満
	No. 2 〒 376-0024 桐生市織姫町2-5 TEL 0277-40-1500 / FAX 0277-46-1126		
11.埼玉県	おおaura なおや 大浦 直也	公益財団法人さいたま市文化振興事業団 事業課・主事	さいたま市文化センター 開館年 1985 年 大ホール(さくら草ホール) 2,006席/2,283㎡ 小ホール(しらさぎホール) 340席/486㎡ 多目的ホール 150席/320㎡ 自主事業 b. 1本～10本 事業予算 d. 3,000万円～5,000万円未満
	No. 3 〒 336-0024 さいたま市南区根岸1-7-1 TEL 048-866-3467 / FAX 048-837-2572		
14.神奈川県	いいじま れいな 飯島 玲名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 横浜みなとみらいホール 事業企画グループ 職員	横浜みなとみらいホール 開館年 1998 年 大ホール 2,020席/1,944㎡ 小ホール 440席/425㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
	No. 4 〒 220-0012 横浜市西区みなとみらい4-3-1 PLOT48 横浜みなとみらいホール仮事務所 TEL 045-682-2020 / FAX 045-682-2023		
20.長野県	やなぎさわ ようすけ 柳澤 陽介	中野市 くらしと文化部文化スポーツ振興課文化振興係 主査	中野市市民会館 開館年 1969 年 ホール 1,012席/約1,100㎡ 自主事業 b. 1本～10本 事業予算 b. 1円～1,000万円未満
	No. 5 〒 383-8614 中野市三好町一丁目3番19号 TEL 0269-22-2111(内線394) / FAX 0269-22-2295		
23.愛知県	はまもと あやこ 濱本 綾子	西尾市 交流共創部観光文化振興課 主事	西尾市文化会館 開館年 1980 年 大ホール 1,217席/1,943㎡ 小ホール 352席/572㎡ 自主事業 b. 1本～10本 事業予算 b. 1円～1,000万円未満
	No. 6 〒 445-8501 西尾市寄住町下田22番地 TEL 0563-65-2197 / FAX 0563-57-1317		
23.愛知県	くらし まきこ 倉地 満紀子	一般財団法人稲沢市文化振興財団 主任	稲沢市民会館 (愛称：名古屋文理大学文化フォーラム) 開館年 1995 年 大ホール 1,304席/1,698㎡ 中ホール 504席/779㎡ 小ホール 256席/248㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 d. 3,000万円～5,000万円未満
	No. 7 〒 492-8145 稲沢市正明寺3丁目114番地 TEL 0587-24-5111 / FAX 0587-24-5115		
23.愛知県	おおまつ たけし 大松 威志	一般財団法人こまき市民文化財団 事業グループ兼広報営業グループ	小牧市市民会館 開館年 1971 年 大ホール 1,334席/5,461.42㎡ 自主事業 c. 11本～20本 事業予算 d. 3,000万円～5,000万円未満
	No. 8 〒 485-0041 小牧市小牧二丁目107番地 TEL 0568-71-9700 / FAX 0568-39-5671		

23.愛知県	やまもと むねよし 山本 宗由	長久手市 長久手市文化の家 事業係	長久手市文化の家 開館年 1998 年
	No. 9 〒 480-1166 長久手市野田農201番地 TEL 0561-61-3411 / FAX 0561-61-2510		森のホール 819 席/1,300㎡ 風のホール 300席/900㎡ 光のホール 101席/100㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円～3,000万円未満
24.三重県	たかだ ともこ 高田 朋子	公益財団法人三重県文化振興事業団 三重県文化会館事業課音楽事業係	三重県文化会館 開館年 1994 年
	No. 10 〒 514-0061 津市一身田上津部田1234 TEL 059-233-1112 / FAX 059-233-1106		大ホール 1,903席/-㎡ 中ホール 968席/-㎡ 小ホール 285席/-㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
24.三重県	きたおか はつね 北岡 初音	株式会社ケイミックスパブリックビジネス 事業担当	津市久居アルスプラザ 開館年 2020 年
	No. 11 〒 101-0052 千代田区神田小川町1-2 風雲堂ビル4階 TEL 03-5289-3570 / FAX 03-5289-3560		ときの風ホール 720席/1,227㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満
28.兵庫県	わたなか しゅんすけ 綿中 駿介	NPO法人コミュニティアートセンターブラッツ 技術	豊岡市民プラザ 開館年 2004 年
	No. 12 〒 668-0031 豊岡市大手町4-5 Aity7F TEL 0796-24-3000 / FAX 0796-24-3004		ほっとステージ 250席/236㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 b. 1円～1,000万円未満
40.福岡県	たなか はるな 田中 明菜	公益財団法人北九州市芸術文化振興財団 北九州芸術劇場 劇場事業課	北九州芸術劇場 開館年 2003 年
	No. 13 〒 803-0812 北九州市小倉北区室町1丁目1-11 TEL 093-562-2620 / FAX 093-562-2633		大ホール 1,269席/8,026㎡ 中劇場 700席/5,496㎡ 小劇場 96～216席/1,285㎡ 自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上

(3) 公立ホール・劇場マネージャーコース

01.北海道	かつた あきら 勝田 全	一般財団法人大空町青少年育成協会 事務局長	大空町教育文化会館 開館年 1978 年 教育ホール 511席/1,458㎡
	No. 1 〒 099-2323 網走郡大空町女満別西3条4丁目1-11 TEL 0152-74-2367 / FAX 0152-74-2367		自主事業 b. 1本~10本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満
05.秋田県	こばやし じゅん 小林 純	NPO法人能代市芸術文化協会 能代市文化会館 館長	秋田県能代市文化会館 開館年 1980 年 大ホール 1,181席/1,088㎡ 中ホール 400席/447㎡
	No. 2 〒 016-0842 能代市追分町4-26 TEL 0185-54-8141 / FAX 0185-54-8145		自主事業 b. 1本~10本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満
06.山形県	ぐんじ あい 軍司 愛	タクトつるおか共同企業体 チーフマネージャー	鶴岡市文化会館(荘銀タクト鶴岡) 開館年 2018 年 大ホール 1,120席/1,700㎡ 小ホール 180席/247㎡
	No. 3 〒 997-0035 鶴岡市馬場町11番61号 TEL 0235-24-5188 / FAX 0235-25-7611		自主事業 d. 21本以上 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満
12.千葉県	ひらい ゆかこ 平井 裕佳子	千葉県福祉ふれあいプラザ	千葉県福祉ふれあいプラザ 開館年 2008 年 ふれあいホール 551席/522㎡
	No. 4 〒 270-1158 我孫子市本町3-1-2 TEL 04-7165-2883 / FAX 04-7165-2884		自主事業 b. 1本~10本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満
17.石川県	ほり ゆういち 堀 裕一	公益財団法人金沢芸術創造財団 金沢歌劇座 担当館長補佐	金沢歌劇座 開館年 1962 年 ホール 1,919席/9,805㎡
	No. 5 〒 920-0999 金沢市柿木島1番1号 TEL 076-223-9888 / FAX 076-261-5233		自主事業 b. 1本~10本 事業予算 d. 3,000万円~5,000万円未満
23.愛知県	いけだ きよし 池田 輝嘉	公益財団法人かすがい市民文化財団 館長	春日井市民会館、文化フォーラム春日井(春日井市文芸館) 開館年 1966 年 春日井市民会館 1,022席/2,366㎡ 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール 198席/274㎡
	No. 6 〒 486-0844 春日井市鳥居松町5-44 TEL 0568-85-6868 / FAX 0568-82-0213		自主事業 d. 21本以上 事業予算 f. 1億円以上
23.愛知県	いしくら まさや 石倉 正也	一般社団法人西尾市文化協会 西尾市文化会館 副館長	西尾市文化会館 開館年 1980 年 大ホール 1,217席/1,943㎡ 小ホール 352席/572㎡
	No. 7 〒 445-0877 西尾市山下町泡原30番地 TEL 0563-54-5855 / FAX 0563-54-0680		自主事業 c. 11本~20本 事業予算 c. 1,000万円~3,000万円未満
23.愛知県	きむら ひろし 木村 寛	KNS共同事業体 館長	名古屋市公会堂 開館年 1930 年 大ホール 1,552席/2,135㎡ 4階ホール 780席/833㎡
	No. 8 〒 466-0064 名古屋市昭和区鶴舞1-1-3 TEL 052-731-7191 / FAX 052-731-7149		自主事業 b. 1本~10本 事業予算 b. 1円~1,000万円未満

23.愛知県	くろの まさなお	長久手市	長久手市文化の家
	黒野 雅直	長久手市文化の家 事業係 主任	開館年 1998 年
No. 9	〒 480-1166 長久手市野田農201番地 TEL 0561-61-3411 / FAX 0561-61-2510		森のホール 819席/1,300㎡
			風のホール 300席/900㎡
			光のホール 101席/100㎡
			自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円～3,000万円未満

24.三重県	そね まさる	公益財団法人四日市市文化まちづくり財団	四日市市文化会館
	曾根 賢	文化振興・国際交流部文化振興グループ 四日市市文化会館副館長兼事業グループリーダー	開館年 1983 年
No. 10	〒 510-0075 四日市市安島2丁目5番3号 TEL 059-354-4501 / FAX 059-354-4093		第1ホール 1,786席/-㎡
			第2ホール 593席/-㎡
			第3ホール 120席/-㎡
			自主事業 b. 1本～10本 事業予算 d. 3,000万円～5,000万円未満

33.岡山県	おかだ ようこ	公益財団法人岡山文化芸術創造	岡山芸術創造劇場
	岡田 庸子	事業グループ 営業・広報担当 主事	開館年 2023 年
No. 11	〒 700-0823 岡山市北区丸の内2丁目1-1 岡山市民会館4階会議室 TEL 086-225-0154 / FAX 086-225-0156		大劇場 1,750席/5,588㎡
			中劇場 800席/2,834㎡
			小劇場 300席/1,277㎡
			自主事業 c. 11本～20本 事業予算 e. 5,000万円～1億円未満

44.大分県	こじま そうた	一般財団法人竹田市文化振興財団	竹田市総合文化ホール グランツたけた
	小島 聡太	業務マネージャー	開館年 2018 年
No. 12	〒 878-0024 竹田市大字玉来1番地1 TEL 0974-63-4837 / FAX 0974-63-2211		廉太郎ホール（大ホール） 713席/3,153㎡
			キナーレ（多目的ホール） 170席/277㎡
			自主事業 d. 21本以上 事業予算 c. 1,000万円～3,000万円未満

令和3年度ステージラボ ～公共ホール等企画運営ワークショップ～ 事業報告書

編集・発行

一般財団法人地域創造

〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11

オリックス赤坂2丁目ビル9階

電話 03-5573-4093

ファクシミリ 03-5573-4060

発行日

令和4（2022）年4月発行